

第9回全国小学生大会

試合方法

競技規定

- (1) 試合規則はFIE試合規則最新版を準用する。
- (2) 試合方法は、プールとエリミネション・ディレクトの混合方式とする。

◆プール戦について

- * 試合は、片方の選手がトウシュを5本先取した時、または有効な試合時間が3分経過した時に終了する。その時点でトウシュを多くとっている選手が勝者となる。
- ① 記録は5本先取した時、勝者にはV、敗者にはその時点の突数のみを記す。
例) 5対3の場合-V:3
- ② 上記以外でトウシュに差がある場合は、勝者にはVの後にその時点の突数、敗者にはその時点の突数のみを記す。
- * エペに於いては、4:4からのクー・ドゥーブル及びタイム・アップ後のクー・ドゥーブルはカウントしない。
- * 規定時間終了時に同点の場合は、次のとおりである。
- ① アドバンテージ決定のための抽選後、1分間を限度として1本勝負を行う。この間に勝者が決定しない場合はアドバンテージを有する選手が勝者となる。記録は勝者にはVの後に同点時のスコアを記し、敗者には、同点時のスコアのみを記す。
- ② 1本勝負で勝者が決した場合、記録表に記入するスコアは、勝者にはVの後に同点時のスコアに「1点加算し」、敗者には同点時のスコアのみを記す。

◆エリミネション・ディレクト戦について

- * 同チーム所属考慮の原則については、このエリミネション・ディレクトは適用されない。

- * エリミネション・ディレクト戦の対戦は、10本勝負で、3分間×2セットに分けられた最高6分間とする。

※小学生3、4年生男子フルーレ、女子フルーレは8本勝負とする。3分×1セット、2分×1セット

セット間には1分間の休憩がある。この休憩の間に、試合前に指定されたコーチは、自分の選手に話しかけることができる。

- * 1分前の警告は無い。各セットの開始時は常に両選手を中央に位置させる。
- * その他、試合時間と記録については、上記プール戦の規定に準ずる。

◆決勝

4名の選手によるエリミネション・ディレクトとする。

3・4位決定戦は実施しない。(3位が2名)

◆プールにおける順位決定(上位進出)方法…(全体のプールの中で)

- (1) 勝率の高い方を上位とする。
- (2) 指数(TD-TR)の高い方を上位とする。
- (3) TDの多い方を上位とする。
- (4) 2人以上の選手が、(1).(2).(3).全て同率の場合、順位表の序列は、抽選によって決める。但し、2回戦進出最終順位に2名もしくはそれ以上の選手がいた場合、バランジは行わず同順位の選手は全て2回戦へ進出させる。

◆用具検査

- ※本競技会の武器・装具の検査は全てピスト上に於いて主審が実施する。

第9回全国小学生大会

9月2日(土)

試合方法(小学生男子5、6年フルーレの部)

男子フルーレ 1回戦 135名

6 プール	×	20	120	} 上位	95	名上がり
5 プール	×	3	15			
プール数		23	135			

試合方法(小学生女子エペの部)

女子エペ 1回戦 33名

6 プール	×	3	18	} 上位	24	名上がり
5 プール	×	3	15			
プール数		6	33			

試合方法(小学生女子サーブルの部)

女子サーブル 1回戦 9名

9 プール	×	1	9	} 上位	9	名上がり
プール	×		0			
プール数		1	9			

試合方法(小学生男子3、4年フルーレの部)

男子フルーレ 1回戦 111名

6 プール	×	11	66	} 上位	78	名上がり
5 プール	×	9	45			
プール数		20	111			

第9回全国小学生大会

9月3日(日)

試合方法(小学生女子5、6年フルーレの部)

女子フルーレ 1回戦 91名

6プール	×	11	66	} 上位	64	名上がり
5プール	×	5	25			
プール数		16	91			

試合方法(小学生男子エペの部)

男子エペ 1回戦 50名

6プール	×	5	30	} 上位	35	名上がり
5プール	×	4	20			
プール数		9	50			

試合方法(小学生男子サーブルの部)

男子サーブル 1回戦 21名

7プール	×	3	21	} 上位	15	名上がり
6プール	×	0	0			
プール数		3	21			

試合方法(小学生女子3、4年フルーレの部)

女子フルーレ 1回戦 87名

6プール	×	7	42	} 上位	61	名上がり
5プール	×	9	45			
プール数		16	87			